



9月1日は

「防災の日」です



——早めの避難を心掛けましょう——

問合せ 防災対策課 (4階)
☎(36)7580、FAX(20)1602

今年の7月、九州では想定外の雨量により球磨川や筑後川が氾濫し、甚大な被害が発生しました。このところ、日本中のあちらこちらで大きな水害が発生しています。茂原市でも、昨年10月25日の大雨により、2人の方の尊い命が失われ、約3,600件の床上・床下浸水や約70カ所の床け崩れ等未曾有の被害が発生しました。

防署や警察署に救助要請がそれぞれ100件以上あったようです。このような状況では、消防署や警察署の救助力にも限界がある上、救助する側にも命の危険が伴います。また、九州等の災害でも車ごと流され車中で亡くなった方がいたように、冠水等の被害が出始めてからの避難は、非常に危険です。災害に対して、人は楽観的です。災害が起こっても、「大したことにはならないだろう」「自分は大丈夫だろう」と思う傾向にあります。危なくなってからでは遅いのです。避難して、結果的に何も被害が発生しなくても、「逃げなければよかった」ではなく、「何も起こらなくてよ



▲令和元年10月25日の大雨による市内の様子

かった」と思えるようになりましょう。防災とは、自分の大切な人を守ることです。家族や知人と一緒に、いち早く避難しましょう。